

4. 新型コロナウイルス感染症による子どもたちへの学習面への影響や安全面の配慮、ICT化について

- ① 子どもたちへの学習面での影響をどのように考えているか
- ② 6月から学校再開となったが、安全面での配慮についてどのような対策を施すのか
- ③ 学習内容をふまえ、休業期間や行事等をどのように考えているのか
- ④ タブレット等を活用した学習の進め方について市の考え方を問う
- ⑤ タブレット等の整備状況、Wi-Fi環境等の整備状況について
- ⑥ GIGAスクール構想早期実現のための課題について

【答弁】

4. 新型コロナウイルス感染症による子どもたちへの学習面への影響や安全面の配慮、ICT化について、の①～⑥につきまして、順次お答えいたします。

最初に、①についてお答えいたします。

新型コロナウイルス感染症による臨時休業が長期間に及んだことで、学習習慣の乱れや、授業の遅れに対する不安、学習状況に差が生じていること等、様々な影響が及んでいるものと考えております。

今後は、3月までの残された期間で定められた学習内容を終える必要がございますことから、授業内容の効率化や家庭学習の充実に努めてまいります。さらに、子どもたちの状況を丁寧に把握しながら、必要に応じて補習を行うなど、子ども一人ひとりに応じた、きめ細かな指導に努めてまいりたいと考えております。

次に、②についてお答えいたします。

本市におきましては、5月半ばより登校日を設け、学校の全面再開に向けた対策を進めてまいりました。具体には、「富田林市立学校園における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」や、国や府からのガイドライン等をふまえ、毎日の健康観察や手洗い、マスクの着用や身体的距離の確保、換気の徹底などの取組みを行っております。また、子どもたちの下校後は、教職員による消毒などの作業も行っております。今後も、このような安全対策を講じながら、学校における教育活動を円滑に実施できるよう努めてまいります。

次に、③についてお答えいたします。

本市におきましては、今後の学習内容をふまえ、夏季休業を8月8日から8月26日までの19日間に短縮することで、授業時数の確保を図る予定でございます。さらに、15分ずつの学習を積み重ねて実施する、いわゆる「モジュール学習」を行ったり、7時間目の授業を実施したりするなど、各校の状況に応じて工

夫を行いながら授業時数の確保に努める予定でございます。また、校外学習や卒業式などの行事につきましても、内容や練習の時間を精査した上で、必要に応じて実施することを検討しております。

次に、④についてお答えいたします。

本市におきましては、これまでも情報スキルやプログラミング的思考の育成に向けて取組みを進めてまいりました。今後は、タブレット型端末を活用し、子どもにとってより分かりやすい授業や、主体的・対話的で深い学びの実現をめざしてまいります。さらには、SDGsの観点による誰一人取り残すことのない教育の実現をめざして、端末やドリル教材等を活用しながら、子どもたちのつまずきの早期発見や、個々の学習状況のきめ細かな把握に努め、子ども一人ひとりに応じた学びの充実に取り組んでまいります。

次に、⑤についてお答えいたします。

本市におきましては、国の「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画」にもとづき、令和4年度までに3クラスに1クラス分程度の学習用コンピュータ等の整備を行うことを目標として、昨年度は、小学校に学習用タブレット型パソコンを208台導入いたしました。あわせて、小学校の校内Wi-Fi環境につきましても一部整備を行いました。

次に、⑥についてお答えいたします。

今後、学校現場におけるICT化をより進めていくためにも、学校のICT環境を有効活用できる体制づくりを進める必要があると考えております。そのため、本市教育委員会担当者と、各校の情報教育担当教員との連携を図り、学校を支援してまいりたいと考えております。

また、タブレット型端末を日常的に授業で活用するには、教員の指導用端末や、子ども用端末の故障に備えた予備機の整備、修繕に係る費用等も必要になってくると考えております。

さらに、子どもたちが一斉にインターネット上の動画教材等を閲覧した場合、通信速度が遅くなってしまうということが懸念されるため、回線の増強が必要になると考えております。

加えて、実際の授業で端末を活用するには、学習活動に応じた端末の設定変更、アプリのインストール、授業中の機器のトラブルに関するサポート、子どもへの支援等を円滑に行うために、ICT指導員を配置する必要性もあると認識しております。

こうしたことから、今後、指導用や予備用の端末の整備や修繕に係る費用、回線の増強、さらに、人員配置に関する補助や支援の充実について、国や府に要望してまいります。

以上、お答えといたします。